



選者：川崎市立西有馬小学校 教諭 福山 里加

日本の
昔話

「したきりすずめ」

したをきられたすずめが、おみやげにくれたものは…？

むかし、やさしいじいさまとよくばりなばあさまがすんでいました。ある日、じいさまがかわいがっていたすずめのしたを、ばあさまがきってしまいます。じいさまがすずめにあやまりにいくと、おみやげにとわたくしたてくれた小さなつづらには大ばん小ばんがざっくざく。それをみたばあさまは、大きなつづらがほしいと、すずめのもとへいきますが…。

日本の
昔話

「ききみみずきん」

ふしぎなずきんをかぶると、どうぶつのはなしがきこえる？

はたらきものわかものは、ふしぎなずきんをもらいました。ずきんをかぶると、どうぶつのはなしがきこえるようになりました。そのはなしのとおり、どうぶつをたすけると、おかあさんのびょうきをなおすことができました。それからわかものは、ずきんのかをつかって、どんなことをするのでしょうか…？

日本の昔話
(宇治拾遺物語)

「わらしべちょうじゃ」

びんぼうなおとこのうんめいをかえたのは、一ぼんのわら？

まずしいおとこが、みちでひろった一ぼんのわらをたいせつにもっていました。すると、わらをほしがる人があらわれ、みかん3ことこうかんします。そのあと、みちでであう人にあげたり、ゆずったりしているうちに、わらはどんどんかたちをかえていきます。さいごは、どんなものにかわり、おとこはどうなるのでしょうか…？

日本の
昔話

「かちかちやま」

わるいたぬきを、かちこいうさぎがおしおきだ！

むかし、おじいさんをなかせたわるいたぬきがありました。それをみていたうさぎが、たぬきにしばをせおわせて、火(ひ)うちいで「かちかち」と火をつけます。そのおとをふしぎにおもったたぬきに、うさぎは「かちかち山だからだよ」といってだまします。このあと、うさぎはたぬきにどんなおしおきをするのでしょうか…？